

## 白馬村社会福祉推進委員会 第1回障がい福祉部会 会議の要旨

【日 時】令和5年11月29日（水曜日）午後1時30分～3時45分

【会 場】白馬村役場 2階 庁議室

【出席者】

|                         |        |   |
|-------------------------|--------|---|
| 白馬村議会                   | 尾川 耕   | ○ |
| 白馬村社会福祉協議会              | 松澤 孝行  | - |
| 白馬村身体障害者福祉協会            | 山岸 昭夫  | ○ |
| 白馬村手をつなぐ育成会             | 丸山 加代子 | ○ |
| 療育・相談支援センターそらいろ         | 細野 智行  | ○ |
| 社会福祉法人 しあわせ クロスロード白馬    | 田中 好幸  | ○ |
| 大北圏域障害者総合支援センター スクラムネット | 松井 幸夫  | ○ |
| 白馬村子育て支援課               | 松澤 拓哉  | ○ |
| 大町保健福祉事務所 福祉課           | 渡辺 公恵  | ○ |
| 公募委員                    | 塩嶋 めぐみ | ○ |

事務局

|                 |       |   |
|-----------------|-------|---|
| 白馬村健康福祉課 課長     | 工藤 弘美 | ○ |
| 白馬村健康福祉課 福祉介護係長 | 太田 和也 | ○ |
| 白馬村健康福祉課 社会福祉士  | 箱山 哲也 | ○ |

開 会（13：30）

（事務局） 開会を宣言

### 1. 部会長あいさつ

（細野部会長） 事務局で作成した「障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画」の素案について、委員の皆様から忌憚のないご意見を伺いながら審議を行っていきたいと思っているため、ご協力をお願いします

### 2. 協議事項

（1）現計画の目標評価について（第3期白馬村障害者計画（平成30年度から令和5年度）の振り返り）

＊事務局より説明＊

（委 員） 文章中で「～の必要があります」とあるが、具体的に何を指していますか

（事務局） 文章中に記載してあるとおり

（委 員） 計画には載せないと思うが、制度の概要及び予算的な資料はありますか

（事務局） 資料としては用意していないため、口頭により説明

（委 員） 説明のあった制度の概要及び予算的な部分についても、計画に載せた方がよいのではないか

- (細野部会長) そうなるとどこまで載せるかになってくるが、事務局としてはどう考えているか
- (事務局) 制度の概要及び予算的なものまで計画に掲載することは考えていない
- (委員) 私はそこまで求めていない。計画を審議及び作成後も推進していく立場の委員には、共通認識として数値等を示していただきたいと思っている
- (事務局) 事業の概要及び年度毎の予算等について、毎年「主要な施策の成果説明書」を作成している。村ホームページで公表されているが、障がい福祉の部分を抜粋して資料提供することは可能
- (細野部会長) 長野県の計画はどのような形となっていますか
- (委員) 長野県も基本は同じ建付けで作成している。理念の部分については、指標の共有ができればよいと思っている
- (委員) 計画の性格はそれぞれの法律で定められており、予算等のことまで載せるものではないと認識している
- (委員) 事務局としては、委員に何を求めているのか
- (事務局) 素案として提案させていただいている計画の審議をお願いしたい。その中で予算及び人員的な部分について、計画に載せるまでいかなくてもご意見としてあればいただきたい
- (委員) 今後のスケジュールとして、部会はもう1回開催することは可能なのか
- (事務局) 必要に応じて開催することとしているため可能である。事務局としては、現状の素案で不明瞭な部分があるところのご意見から、補足資料を用意し改めて部会を開催したいと考えている

(2) 現計画の目標評価について（第6期白馬村障害福祉計画及び第2期白馬村障害児福祉計画（令和3年度から令和5年度）の目標達成状況及び評価）

\*事務局より素案説明\*

- (委員) 24ページの地域活動支援センターについて、月曜日から金曜日まで開所しているのか。してなければ毎日開所したほうがよいと思うが
- (事務局) 月曜日及び木曜日の週2回開所している。現状で日数増加の要望等はいただいてなく、今後も増やす予定はない
- (委員) 地域の窓口として、通所する人が多い少ないに関わらず、地域活動支援センターは毎日開所している方が望ましい
- (事務局) 今後ニーズを踏まえ、必要に応じて委託先の白馬村社会福祉協議会と検討していく
- (委員) 今回のアンケート調査で「サービス事業者が少ない」とあったが、具体的にどのサービスが少ないと感じているのか
- (事務局) 白馬村に限った話ではなく、大北圏域全体として居宅介護及び重度訪問介護等の訪問系サービスが少ない現状にあるが、重度訪問介護について、令和5年度に大北圏域外の事業所で大北圏域に居住しているヘルパーが対応した事例があったため、今後も柔軟に対応していきたい
- (委員) 大北圏域外の事業所で対応した事例について、提供に至った経緯をお聞きしたい

- (事務局) 今回の事例に関しては、事業所から白馬村にサービス提供できる旨のお話があり、対象の方から利用希望があったため、サービス提供に至っている
- (委員) 対象の方が自ら得られる情報には限界があると思っているため、行政側がアンテナを高くし今後も情報提供を行ってほしい
- (委員) 18 ページの福祉施設から一般就労への移行等について、目標には達していないが、実績2人は大きなものである。事務局として要因は何だと考えているか
- (事務局) 対象の方が希望する事業所を上手く見つけられたことは大きい。また、推測の域は出ないが、交通費補助制度も通所する意欲の一部となった可能性も高く、村としては一定の成果を挙げられたと感じている
- (委員) 交通費補助制度について、一般就労後も対象としているのか
- (事務局) 対象としていない
- (委員) 26 ページの児童発達支援・放課後等デイサービスについて実績の伸びが大きい、療育は早ければ早いほどよいと言われている中で、この実績に対してどのような分析をしているのか
- (事務局) 教育委員会子育て支援課と連携しながら早期発見体制の充実化を図ってきた結果かと思われる。また、提供事業所と話しをする中で、未就学児の段階で支援に繋げていくことの重要性を共有できたことも要因としては大きい
- (委員) 医療的ケア児コーディネーターについて、白馬村は保健師等で対応することから設置しないとのことだが、実態としてコーディネーターを兼ねているという位置付けでもよいと思う
- (事務局) 実態としてはご指摘のとおり。表記方法については検討の余地があると感じているが如何か
- (委員) 前向きな表記にしたほうがよいと思われる
- (事務局) 具体的な記載方法は検討するが、実績としては「0」になり、但し書きとして保健師等で医療的ケア児コーディネーターの機能を果たして充足できている旨の記載を追加する

### (3) その他

- (事務局) 時間が超過しているため、第5章以降の次期計画素案の審議については次回の部会で行うことにします。また、補足資料についてこちらで提供できるものを事前に送付しますので、ご覧いただきそれを併せたうえで素案についてご意見があれば、事務局へお願いします。出していただいたご意見に対しての対応については、事務局で検討し第2回部会の際に提案させていただきます

閉 会 (15:45)

- (事務局) 閉会を宣言